

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートセンターかがやき			
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 27日		～	令和 8年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児発：35人 放デイ：32人	(回答者数)	児発：35人 放デイ：32人
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 28日		～	令和 7年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	14人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学6年生までの児童を対象とした放課後等デイサービスや日中一時支援事業が併設されておりで継続した支援が手厚く、細やかに行うことができる。	それぞれの児童の特性について、職員間で話し合う機会も多く共有した支援方法などを考え、積極的に関わることができる。	児発管と支援員間、また日中一時支援事業の職員との積極的な情報交換を行い、多面的に児童の観察や支援の方法なども考え意見を出し合い、それぞれの児童にあった支援を行っていく。
2	ラインチャットから日頃の療育の様子や研修案内など、タイムリーに保護者の方へ情報共有をすることができる。	利用者一人ひとりの様子が分かるように写真掲載している。保護者の方にいつもと違う児童の様子や頑張っている様子が伝わるような写真を撮るよう心がけている。また、保護者の方のいろいろなニーズに合わせて必要な講演会やイベント情報も共有している。	見通しを持って活動に参加したい児童や言葉の表出が少ない児童とのコミュニケーションに、チャットにあげる写真から保護者の理解を通して児童との会話のやりとりが増え、楽しいものにしてもらう為に、継続的に必要な情報を更新し続けていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	テラスから出る屋外スペースが、活動内容によっては狭く感じる。	プールや粗大運動を行う際には、曜日クラスによっては動きのあるメンバー構成だと物足りなく感じる。	テラスの有効活用と活動内容の工夫は、屋外スペースを把握しながら危険のないように進めていく。
2	送迎を必要としているご家庭が増えている中、送迎サービスの導入になかなか踏み切れていない。	療育や送迎車の準備に課題がある。	送迎車の確保や限られた時間の中で、一人ひとりに寄り添った療育内容を準備する工夫がいる。今後も、職員間の声掛けや役割分担など話しあう必要がある。
3			